

トリフルリジン・チピラシル塩酸塩
Trifluridine, Tipiracil Hydrochloride.

●**ロンサーフ**(大鵬)

配合錠(モル比1:0.5で配合)
(FTDとして) T15: 15mg, T20: 20mg

【警告】次との併用で重篤な骨髄抑制
フツ化ピリミジン系(5FU, カペシタ
ピン, テガフルル, ドキシフルリジン,
ユーエフティ, ティーエスワン)
メトトレキサート, ペメトレキセド
フルシトシン,

【特】a. TPIはFTDの分解を阻害し

本剤の血中濃度を維持
c. 生存期間9ヵ月(プラセボ6.6ヵ月).

【効】切除不能な進行・再発の結腸・直腸癌

a. 標準的治療が困難な場合に限る.

b. フツ化ピリミジン系, イリノテカン,
オキサリプラチンを,

2回以上投与し無効に限る」

c. 第III相試験実施中.

d. 一次治療・二次治療, 術後補助化学
療法, 抗癌薬との併用は未承認.

【用】a. 下記初回基準量を

1日2回朝食後, 夕食後を
5日投与, 2日休薬を2回回復後,
14日間休薬を1コースとし繰り返す.
(適宜減量).

体表面積(m²) 初回基準量FTD相当量

<1.07	35mg/回(70mg/日)
<1.23	40mg/回(80mg/日)
<1.38	45mg/回(90mg/日)
<1.53	50mg/回(100mg/日)
<1.69	55mg/回(110mg/日)
<1.84	60mg/回(120mg/日)
<1.99	65mg/回(130mg/日)
<2.15	70mg/回(140mg/日)
≥2.15	75mg/回(150mg/日)

b. 投与開始基準, 投与再開基準,

休薬基準は添付文書参照.

c. 1日50mgは朝食後20mg, 夕食後30mg.

d. 空腹時は避ける

【体内動態】1.FTD: 1.2~1.9時間でピーク,
半減期1.1~2.4時間, 尿へ1~6%排泄
TPI: 1.7~2.8時間でピーク, 半減期は
1.5~4.1時間, 尿へ20%排泄

2. 食事の影響: 空腹時に比べFTDの
Cmax(AUCに変化なし), TPIのCmax,
AUCは各々61%, 56%, 56%に低下.

3. TPIはOCT2の基質.

【禁】妊婦.

授乳を中止

【慎】1. 骨髄抑制.

2. 感染症

3. 腎機能障害

4. 中等度及び重度の肝機能障害.

5. 高齢.

【注】生殖可能年齢→性腺へ影響.

【併】B. 慎: →**【警告】**

a. 他の抗悪性腫瘍剤, 放射線照射等で
骨髄抑制, 消化管障害等の増強.

b. FTDはジドブジン, サニルブジン等
と同様の活性化経路

→併用で両剤の効果減弱.

【副】96%**A. 重大:** a. 骨髄抑制: ●白血
球減76%, ●好中球減73%, ●リンパ球
減33%, ●貧血63%, ●血小板減41%, ●発
熱性好中球減少症4%.

b. ●感染症15%: 敗血症, 肺炎.

c. 間質性肺疾患.

D. ●下痢33%, ●悪心63%, ●嘔吐28%,
●食欲減退55%, ●口内炎15%, 腹痛, 便
秘, イレウス, ●疲労52%, 発熱7%, 浮腫,
脱水, ●アルブミン減10%, ●血中ビリ
ルビン増19%, ●尿蛋白陽性11%, ●イ
ンフルエンザ様疾患7%, 心房細動, 心
房粗動, 心筋虚血, ●頭痛5%, めまい, 末
梢性感覚障害, 筋肉痛, ●皮疹7%, 脱毛,
手足症候群, そう痒, ●体重減10%, ●血
中Na ↓5%, 鼻出血, 尿糖陽性.